

遊覧船事業の未来を一緒に

考えてみませんか？

みやこ浄土ヶ浜遊覧船 事業の終了の経緯

「みやこ浄土ヶ浜遊覧船」は昭和37年の開業以来、宮古市および浄土ヶ浜、さらには三陸沿岸地域における観光素材としての役割を果たしてきました。

しかしながら、観光ニーズの多様化、団体旅行の減少、東日本大震災の影響により、事業を取り巻く環境は厳しさを増し、赤字運航の常態化に加えて、船の老朽化や乗組員の高齢化により運航自体の継続が困難になってきたことから、令和3年1月11日(月)をもって事業を終了する予定となっております。

今後の遊覧船事業のあり方を 考えるワークショップの開催

市の重要な観光資源である「浄土ヶ浜遊覧船」が事業終了を予定していることに伴い、今後のあり方などについて検討するワークショップを開催いたします。

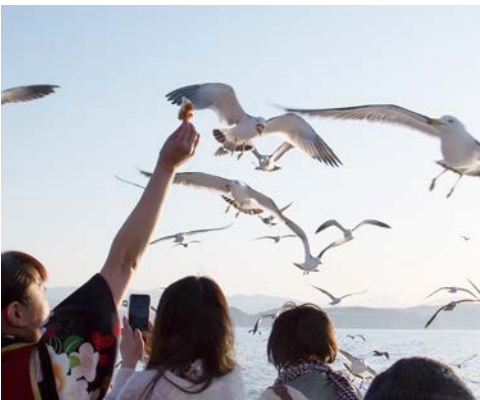
- 期日 9月6日(日)
- 時間 午後1時30分～3時30分
- 場所 イーストピアみやこ1階会議室1・2
- 参加対象 市内に在住、または勤務する人(高校生以上)
- 定員 先着20人
- 申し込み 市観光課までなし観光係(☎09091)



宮古市の観光資源である海を有効に使った遊覧船事業は、市の魅力を発信するのに重要な事業です



三陸の美しい景色を満喫した観光客



ウミネコも大喜びの遊覧船

編集後記

▼高齢者叙勲をされた方々のインタビューをし、生涯を何かに対し果敢に打ち込む姿に感銘を受けました。目前にあることに手を抜かない、そういう姿勢が向上につながるのには理の当然ではありますが、継続して行うことはなんと難しいことでしょうか。 【東】

▼磯の観察会を取材(7頁参照)。子どもたちがはしゃぎながらアメフラシやヤドカリなどを捕まえている様子を見ながらシャッターを切りました。大潮の影響で潮が引いて普段は入れない浅瀬に入り、ウニを見つけて子どもよりはいしゃや大人の姿も観察できました。 【元】

▼今年はコロナ禍の影響もあり、静かなお盆を過ごした。その中で家系図を見る機会があった。寛保、安政などの元号とともに先祖様が生き証が脈々と記されていた。それぞれに苦難を乗り越えてきたはず。今、命のバトンを受け取って生きていく自分達も精一杯頑張らねば。 【道】



目の不自由な方に広報などのCD(デジタル)を無料で貸し出しています(宮古音声訳の会 ☎兼FA72-2537)。



耳の不自由な方など記事への問い合わせが電話だと難しい方は、市秘書広報課広報係へファクスまたはメールで問い合わせてください。

【ファクスでの問い合わせ】

FA72-9114

【メールでの問い合わせ】

✉info@city.miyako.iwate.jp



ホームページ
https://www.city.miyako.iwate.jp



マイロ



Android